

創業者の思いを根幹に 製菓業から食品業へ



▲従来のパッケージからECOパッケージに変更

亀田製菓は、創業者の「生活に喜びと潤いをお届けしたい」という思いを根幹に、お菓子本来の役割である「おいしさ」と「喜び」を提供することを使命としている。同社は、日本の食の基本である「お米」を素材とした米菓を基幹事業としているが、今後は、食品企業を取り巻く環境変化を踏まえ“美味しくからだに良いものを選び、食べ、楽しむ、健やかなライフスタイルへの貢献”を示す“Better For You”の観点からお客様価値を提供し、その趣旨を追求していく。

30年度には“あられ、おせんべいの製菓業”から“Better For You の食品業”へと進化すべく、持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでいる。13年に長期保存食を製造・販売する尾西食品、19年にプラントベースフードなどの製造・加工・販売を行うマイセン、21年に青果物卸や米粉パ

ンの製造販売を手掛けるタイナイの米粉パン事業を買収し、グループ会社化。また、国内植物肉市場の活性化へ向けた取り組みを加速させるため、グリーンカルチャーとオイシックス・ラ・大地の3社で業務・資本提携を結んだ。

23年度中期戦略では、国内米菓圧倒的ナンバーワンを目指す国内米菓事業、米国事業の飛躍的拡大を掲げる海外事業、プラントベースフードの拡大を目指す食品事業の三本柱を展開している。

環境保全活動にも積極的に取り組み、プラスチックトレイを使用せず、パッケージをスリムにするECOパッケージ化を進め、30年までに米菓全商品のECOパッケージ化を目指す。

また、ライフステージに合わせた多様な働き方を支援する退職者復職登録制度「ハッピーリターン制度」の導入、子育てサポート企業として「くるみん認定」を受け、ダイバーシティ実現に向けた取り組みを推進。ユニフォームスポンサーとして地元新潟のプロサッカークラブ「アルビレックス新潟」を支援し、スポーツの迫力や感動を体感してほしいとの思いから、子どもたちをホームゲームに招待する地域貢献活動をアルビレックス新潟と共同で実施している。さらに地域の小学生を対象とした食育活動として「工場見学」を実施し、地域や子どもたちの未来につながる活動を展開。また、17年に新潟大学と米関連機能性素材の高付加価値化をはかり、健康・医療・美容分野への貢献を目指して包括連携協定を締結した。

